

神経性やせ症に関する臨床研究協力のお願い

(神経性やせ症に対する認知行動療法の無作為比較試験)

研究紹介

東京大学医学部附属病院心療内科では国内の他の施設と共同し、下記の条件を満たす方を対象に、「**強化された認知行動療法 (CBT-E)**」と「**通常治療**」の治療効果を比較する研究を行っています。

- 1) **神経性やせ症の診断基準(DSM-5)を満たす**
- 2) 同意取得時の年齢が16歳以上(未成年の場合は、親権者の承諾が必要)
- 3) 女性
- 4) BMI {体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))} が14.0以上かつ18.5未満
- 5) 日本に在住し、日本語の読み書きができる3)

上記以外にもいくつか条件があります。上記を満たしていても研究に参加できない場合もございます。



CBT-Eは体形・体重へのこだわりや食行動の問題を持続させている考えや行動に焦点を当てる治療法です。1回50分程度の治療面接を週1～2回実施します。治療では患者さんに食行動の記録など様々な課題に取り組んでもらいます。通常治療は現在一般的に行われている摂食障害治療ガイドラインに則った治療です。心理教育、栄養指導、食行動記録などを行います。2週間に1回程度、治療を行います。

どちらの治療を受けるかは「**ランダム (無作為)**」に決められます。研究参加者が治療法を選ぶことはできません。

研究実施概要



実施場所	東京大学医学部附属病院 心療内科
募集期間	2022年*月から2024年3月
協力期間	治療期間：約5～10か月（治療終了から半年後、アンケートによる治療効果評価を行います）
治療費	通常の保険診療以外の費用負担はありません。 (紹介状がない場合は初診料がかかります。評価時に負担軽減費をお渡しします)

お問合せ先

ご興味のある方は、下記の宛先にメールでお気軽にお問合せ下さい。
研究内容と研究参加についてご案内いたします。



: an.cbte.utpsm@gmail.com



研究参加者募集の詳細については下記のホームページにも記載しています。

<https://plaza.umin.ac.jp/~psmut/visit/research-news/>



面接で参加基準に当てはまらない場合や定員を超えた場合、ご参加頂けないことや治療までお待ち頂くことがございます。あらかじめご了承ください。他の医療機関に通院中の方は主治医からの紹介状が必要です

東京大学医学部附属病院 心療内科

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

研究題名：神経性やせ症に対する認知行動療法の無作為比較試験

担当者：野原 伸展 研究責任者：吉内 一浩